

令和 6 年度

下 水 道 事 業 会 計  
【 決 算 概 要 】

令 和 7 年 10 月 27 日  
滝沢市上下水道部



## 令和6年度下水道事業会計決算概要

## 1 業務の概要

令和6年度末の汚水処理区域内人口は、前年度比較84人減の38,605人で、行政区域内人口に対する普及率は、前年度比0.6ポイント増の71.4%となりました。また、水洗化人口は、37,544人で処理区域内人口に対する水洗化率は、97.3%となりました。

整備面積は、前年度比較10.7ha増の794.3haで、事業計画面積に対する整備率は89.4%となりました。

汚水の年間総処理水量は、前年度比較269,766m<sup>3</sup>減(6.1%減)の4,152,331m<sup>3</sup>で、有収水量は、前年度比較3,555m<sup>3</sup>減(0.1%減)の3,390,254m<sup>3</sup>となりました。この結果、有収率は、前年度の76.7%と比較して4.9ポイント増の81.6%となりました。

【表-1】業務概要

区分	年度	令和6年度		令和5年度		比較増減	
		①	②	③=①-②	③/②×100		
行政区域内人口	A 人	54,086	54,650	△ 564	△ 1.0 %		
処理区域内人口	B 人	38,605	38,689	△ 84	△ 0.2 %		
水洗化人口	C 人	37,544	37,189	355	1.0 %		
普及率	B/A %	71.4	70.8	0.6	—		
水洗化率	C/B %	97.3	96.1	1.2	—		
事業計画面積	D ha	888.5	877.1	11.4	1.3 %		
整備面積	E ha	794.3	783.6	10.7	1.4 %		
整備率	E/D %	89.4	89.3	0.1	—		
年間総処理水量	F m <sup>3</sup>	4,152,331	4,422,097	△ 269,766	△ 6.1 %		
年間総有収水量	G m <sup>3</sup>	3,390,254	3,393,809	△ 3,555	△ 0.1 %		
有収率	G/F %	81.6	76.7	4.9	—		

## 2 決算概要

## (1) 収益的収支

営業収益は、前年度比2.5%増の766,531,849円、営業費用は、前年度比6.0%減の905,042,597円で、この結果、営業損失は、前年度比較75,915,257円減(35.4%減)138,510,748円となりました。

また、営業外収益は、前年度比9.2%減の331,537,768円、営業外費用は、前年度比7.3%減の64,373,255円で、この結果、経常利益及び当期純利益は、前年度比較47,491,658円増(58.5%増)の128,653,765円となりました。

【図-1】収益的収支

単位:円(税抜)

収入	下水道使用料	他会計負担金・ 他会計補助金・ 手数料		引当金戻入益・ 長期前受金戻入	他会計負担金	雑収益		
		513,514,130	253,017,719					
		46.8 %	23.0 %					
1,098,069,617	営業収益	766,531,849		営業外収益	331,537,768			
		69.8 %			30.2 %			
					特別利益 0			
支出	流域下水道 管理費ほか 維持管理費	減価償却費・ 資産減耗費	その他営業 費用	支払利息	その他営業 外費用	当期純利益		
		311,223,375	593,663,416	155,806	64,368,850	4,405		
		32.1 %	61.3 %	0.0 %	6.6 %	0.00 %		
969,415,852	営業費用	905,042,597		営業外費用	64,373,255			
		93.4 %			6.6 %			

【表-2】前年度との比較(収益的収支)

収入

単位:円(税抜)

区分	令和6年度 A	令和5年度 B	比較 増減	
			C=A-B	C/B×100
下水道事業収益	1,098,069,617	1,113,184,117	△ 15,114,500	△ 1.4 %
営業収益 A	766,531,849	748,134,973	18,396,876	2.5 %
下水道使用料	513,514,130	513,322,000	192,130	0.0 %
他会計負担金	26,077,819	24,044,091	2,033,728	8.5 %
他会計補助金	226,121,000	209,926,182	16,194,818	7.7 %
その他営業収益(手数料)	818,900	842,700	△ 23,800	△ 2.8 %
営業外収益 B	331,537,768	365,049,144	△ 33,511,376	△ 9.2 %
引当金戻入益	2,127,610	1,935,978	191,632	9.9 %
長期前受金戻入	321,037,505	361,045,136	△ 40,007,631	△ 11.1 %
他会計負担金	2,022,000	2,063,000	△ 41,000	△ 2.0 %
雑収益	6,350,653	5,030	6,345,623	126155.5 %
特別利益 C	0	0	0	- %

支出

単位:円(税抜)

区分	令和6年度 A	令和5年度 B	比較 増減	
			C=A-B	C/B×100
下水道事業費用	969,415,852	1,032,022,010	△ 62,606,158	△ 6.1 %
営業費用 D	905,042,597	962,560,978	△ 57,518,381	△ 6.0 %
維持管理費	311,223,375	330,575,625	△ 19,352,250	△ 5.9 %
管渠費	41,980,848	45,260,158	△ 3,279,310	△ 7.2 %
雨水処理費	832,019	689,183	142,836	20.7 %
流域下水道管理費	203,529,091	203,603,637	△ 74,546	0.0 %
業務費	50,184,021	48,228,483	1,955,538	4.1 %
総係費	14,697,396	32,794,164	△ 18,096,768	△ 55.2 %
減価償却費、資産減耗費	593,663,416	631,466,409	△ 37,802,993	△ 6.0 %
その他営業費用	155,806	518,944	△ 363,138	△ 70.0 %
営業外費用 E	64,373,255	69,461,032	△ 5,087,777	△ 7.3 %
支払利息	64,368,850	69,455,971	△ 5,087,121	△ 7.3 %
その他営業外費用	4,405	5,061	△ 656	△ 13.0 %
特別損失 F	0	0	0	-
営業損失 G=D-A	138,510,748	214,426,005	△ 75,915,257	△ 35.4 %
経常利益 H=B-G-E	128,653,765	81,162,107	47,491,658	58.5 %
当期純利益 I=H+C-F	128,653,765	81,162,107	47,491,658	58.5 %

(2) 資本的収支

資本的収支（消費税及び地方消費税込額）については、資本的収入が173,490,000円、資本的支出が502,670,655円であり、資本的収入が資本的支出に不足する額329,180,655円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,847,663円、減債積立金81,162,107円、過年度分損益勘定留保資金238,170,885円で補てんしました。

【図-2】資本的収支

単位:円(税込)

収 入	企業債	補助金	負担金	補てん財源	消費税等調整額
					9,847,663
173,490,000	100,000,000	60,307,000	13,183,000	329,180,655	減債積立金 81,162,107
	57.6 %	34.8 %	7.6 %		損益勘定留保資金 238,170,885
					利益剰余金処分額 0
支 出	建設改良費				企業債償還金
502,670,655	181,832,911	36.2 %			320,837,744 63.8 %

【表-3】前年度との比較(資本的収支)

単位:円(税込)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	比 較 増 減	
			C=A-B	C/B×100
資本的収入	173,490,000	196,825,590	△ 23,335,590	△ 11.9 %
企業債	100,000,000	124,100,000	△ 24,100,000	△ 19.4 %
補助金	60,307,000	55,754,000	4,553,000	8.2 %
国庫補助金	60,307,000	55,754,000	4,553,000	8.2 %
負担金	13,183,000	16,971,590	△ 3,788,590	△ 22.3 %
受益者負担金・分担金	3,443,000	7,664,590	△ 4,221,590	△ 55.1 %
他会計負担金	9,740,000	9,307,000	433,000	4.7 %
資本的支出	502,670,655	525,294,169	△ 22,623,514	△ 4.3 %
建設改良費	181,832,911	199,277,914	△ 17,445,003	△ 8.8 %
管渠建設事業費	130,820,403	153,026,635	△ 22,206,232	△ 14.5 %
雨水建設事業費	38,704,815	23,606,000	15,098,815	64.0 %
流域下水道建設費	12,307,693	22,645,279	△ 10,337,586	△ 45.7 %
企業債償還金	320,837,744	326,016,255	△ 5,178,511	△ 1.6 %

### 3 事業報告

#### (1) 施策目標達成に向けた取組

第2次滝沢市総合計画のビジョンに掲げる『ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち』の実現のため、以下の2つの施策目標を定め各施策の展開を図りました。

#### 上下水道事業の健全かつ持続可能な経営と理解促進のための情報発信

下水道使用料及び受益者負担金等の確実な回収を行うとともに、広報やホームページでの周知や資金融資のあっせん、排水設備助成事業補助の実施などにより水洗化の普及促進を図ることで収益の確保に取り組み、事業経営の健全化を図りました。

下水道事業を担う人材の育成・確保については、県外研修のほかオンライン研修での参加により職員の資質の向上を図りました。

#### 安心・安全かつ強靭な上下水道施設の整備と自然環境保全及び水循環の推進

汚水管渠建設事業は、居住環境の改善・公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を目的とし、砂込第一処理分区において令和6年度より管渠布設工事を実施しています。

また、過年度に実施した穴口処理分区（牧野林地区）の管渠布設工事に伴う舗装復旧工事を実施しました。

・汚水砂込幹線工事	施工延長	L=42.5m	57,701 千円
	管渠工(推進) φ 300	L=40.4m	
・舗装復旧工事(牧野林地区)	舗装復旧	A=867 m <sup>2</sup>	6,603 千円

汚水施設の改築更新については、老朽化した鵜飼西処理分区の人孔鉄蓋交換工事及び管渠更生・更新工事を実施し、不明水対策に取り組みました。また、設置から15年以上を経過し、老朽化した滝沢駅前処理分区、巣子第二処理分区及び鵜飼西処理分区（大沢地区）のマンホールポンプ更新工事を実施しました。

・人孔鉄蓋交換工事(鵜飼西処理分区)	N=40箇所	11,873 千円
・汚水管渠更生・更新工事(鵜飼西処理分区)	N= 8箇所	6,784 千円
・マンホールポンプ更新工事(滝沢駅前、巣子及び大沢地区)	N= 3箇所	16,533 千円

雨水建設事業については、都市化の進展による雨水流出量の増加及び局地的な集中豪雨などの対策を目的とし、大釜排水区において令和3年度より雨水幹線工事を実施しています。

また、浸水対策として雨水台帳を整備しました。

・大釜排水区雨水幹線工事	施工延長	L=42.75m	26,865 千円
	大型フリューム 1,400×1,400	L=38.6m	
	ボックスカルバート 1,400×1,400	L= 4.0m	
・雨水台帳デジタル化業務	雨水台帳作成	N=1式	10,307 千円

## (2) 主な指標の達成状況

令和6年2月に一部改正した下水道事業経営戦略に掲げる投資・財政計画に関する指標の達成状況は【表-4】のとおりとなっています。

- ・経費回収率は99.6%で、目標値を0.4ポイント下回りました。
- ・流動比率は、前年度と比較して31.2ポイント増の153.5%で、経営指標（R5全国平均）を75.3ポイント上回っている状況となりました。
- ・総収支比率及び経常収支比率はともに前年度を上回り、目標値もともに上回りました。

【表-4】指標達成状況

指標名	令和6年度	令和5年度	比較増減	目標値 (令和6年度)	目標値(又は経営指標)との差
経費回収率 (%)	99.6	99.6	0.0	≥ 100.0	↓ 0.4
人口普及率 (%)	71.4	70.8	0.6	≥ 70.9	↑ 0.5
流動比率 (%)	153.5	122.3	31.2	(経営指標) ≥ 78.2	↑ 75.3
自己資本構成比率 (%)	71.8	70.6	1.2	(経営指標) ≥ 66.2	↑ 5.6
総収支比率 (%)	113.3	107.9	5.4	(経営指標) ≥ 105.1	↑ 8.2
経常収支比率 (%)	113.3	107.9	5.4	(経営指標) ≥ 105.1	↑ 8.2

※ 経営指標:「令和5年度地方公営企業年鑑 下水道事業」(総務省)より

※ 「目標値との差」において、「↑」は達成、「↓」は未達成。

$$\begin{aligned} \text{・経費回収率} &= \frac{\text{使用料収入}}{\text{汚水処理費(公費除く)}} \times 100 = \frac{513,514 \text{ 千円}}{515,536 \text{ 千円}} \times 100 = 99.6 \% \\ \text{・流動比率} &= \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 = \frac{562,706 \text{ 千円}}{366,677 \text{ 千円}} \times 100 = 153.5 \% \\ \text{・自己資本構成比率} &= \frac{\text{資本+繰延収益}}{\text{負債資本}} \times 100 = \frac{11,524,485 \text{ 千円}}{16,051,924 \text{ 千円}} \times 100 = 71.8 \% \\ \text{・総収支比率} &= \frac{\text{総収入}}{\text{総費用}} \times 100 = \frac{1,098,070 \text{ 千円}}{969,416 \text{ 千円}} \times 100 = 113.3 \% \\ \text{・経常収支比率} &= \frac{\text{営業収益+営業外収益}}{\text{営業費用+営業外費用}} \times 100 = \frac{1,098,070 \text{ 千円}}{969,416 \text{ 千円}} \times 100 = 113.3 \% \end{aligned}$$